

(3) 災害発生の場合

小学校では校舎内、校舎外ほぼ同数で教室や遊戯施設での災害もかなり多いが、中学校、高等学校では校舎内の災害が多くなり、運動場や屋内運動場での災害が大部分となる。なお、学校外の災害は全般に少ないが、高等学校でやや増加するのは、競技会など学校外の施設での災害が多くなることを示している。(表8)

(4) 災害の種類

災害の97.4%を占める負傷についてみると、骨折、ね

んざ、さ傷、打撲が多く、年齢が低いほど骨折、さ傷が多く、高学年になるとねんざが多くなる。疾病は日、熱射病、関節炎、皮ふ炎などであるが、各学校を通じて少数である。(表9)

(5) 負傷の部位

小学校、中学校においては負傷の約68%が上肢あるいは下肢に発生しているのに対し、幼稚園、保育所では負傷の約52%が頭部、顔面に発生している。(表10)

表5 昭和56年度災害共済給付の状況

区分	A 加入児童 生徒等の数	負 傷		疾 病		障 害		死 亡		合 計		給付率 A/A×100	平均給付額 C/B	
		件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額			
小学校	191,532人	5,042件	37,925,035円	39件	716,763円	6件	3,650,000円	1件	6,000,000円	5,088件	48,291,798円	2.65%	9,491円	
中学校	89,151	5,470	42,018,276	151	1,722,992	6	5,055,000			5,627	48,796,268	6.30	8,672	
高等学校	全日制	85,153	3,126	33,034,182	149	2,412,507	11	25,760,000	2	18,000,000	3,288	79,206,689	3.84	24,090
	定時制	1,322	11	164,616	1	61,987				12	226,603	0.90	18,884	
	通信制	637												
高等専門学校	782	33	296,833	9	97,828					42	394,661	5.37	9,397	
幼稚園	41,162	497	3,160,028	2	6,816	1	900,000			500	4,066,844	1.21	8,134	
保育所	20,724	259	2,052,604	4	48,568					263	2,101,172	1.26	7,989	
合計	430,463	14,438	118,651,574	355	5,067,461	24	35,365,000	3	24,000,000	14,820	183,084,035	3.43	12,354	

表6 最近5ヶ年間の給付件数と給付額の推移

年 度	負傷・疾病 給付件数	障 害 給付件数	死 亡 給付件数	給付件数計	給 付 率	給 付 金 額	1件当たり 平均給付額
昭和52年度	14,198件	23件	6件	14,227件	3.31%	107,677,596円	7,569円
53	14,150	26	7	14,179	3.30	174,766,030	12,325
54	13,660	33	3	13,696	3.17	180,253,582	13,161
55	13,925	29	5	13,959	3.23	170,390,676	12,208
56	14,793	24	3	14,820	3.43	183,084,035	12,354

上記には含まれていないが、安全会の死亡見舞金を上廻る賠償金を受けたため、安全会から供花料3万円を支給した者9件(小学校2件、中学校1件、高等学校4件、幼稚園2件)がある。

障害見舞金の支給内容

障害種別	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	保育所	計
歯 牙 障 害	5	3	6			14
視 力 障 害		1	2			3
上肢機能障害	1			1		2
臓器障害			1			1
中枢神経系障害			2			2
醜状障害		2				2
計	6	6	11	1	0	24

死亡見舞金の支給内容

死 因	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	保育所	計
溺 死	1					1
突然死(心臓系)			2			2
計	1		2			3